

題字：田尾寿夫 園長



(年末もちつき風景)

## 「みどり園の歴史・・・温故知新」

香川県立川部みどり園長 田尾 寿夫

みどり園は、昭和27年創立の知的障害児施設と、昭和41年創立の知的障害者更生施設から成り立っていることはご承知のとおりです。

これまでの間の様々なできごとや関係者の思いは、とてもこの紙面では書ききれませんので割愛しますが、創立15周年誌などを見ておきますと、当時のパイオニア精神や熱い思いがひしひしと伝わってきます。

翻って現状はどうでしょうか。地域移行や新体系

事業所への転換など、コペルニクスの転回とも言える価値の変動の時代の中で、果たして先人たちのような情熱を持って障害者福祉にあたっているか、今一度思いを馳せる必要がありそうです。

平成23年4月の大きな転換期を迎えるに当たり、過去の人たちからの思いを引き継ぎながらも、未来の人たちに笑われないよう、現在すべきことを精一杯やっていきたいと自戒しております。



# みどり園の歴史 ～ 温 故 知 新 ～

## 宇多津学園



フナッコのいんぐわんのおもちゃ  
 小早川きよえ  
 ぶーうさんごまちゃん、お竹ちゃん、ちんちゃん  
 それから...、よっちゃん  
 ちんちゃん、てきめん、な、とおつた  
 じいちゃん、おばあちゃん、と、ぶーうさんには、も、の、て、あ、そ、う、た  
 お、か、あ、さ、ん、め、い、さ、き、と、あ、れ、た  
 お、か、あ、さ、ん、と、ら、の、に、き、て、く、れ、た  
 お、か、あ、さ、ん、き、て、く、れ、て、う、れ、と、あ、た  
 みんな、と、あ、お、き、な、ら、う、に、は、な、ら、な  
 き、も、ち、よ、か、つ、た  
 こ、う、ち、へ、と、あ、ら、な、い、り、よ、こ、う、も、り、つ、た  
 て、の、と、あ、つ、た、な、あ  
 どう、お、ほ、え、と、る

元 みどり園長 横田 恵子

## 『宇多津学園』

宇多津学園は、聖通寺山を少し登った所に位置し、南に讃岐富士を望み聖通寺山一帯をまるで我が庭のように歩きまわり、山頂からは瀬戸内海を見下ろせ、自然環境にはとても恵まれていました。昭和38年に就職しましたが、まだまだ施設・設備はお粗末、職員は園児75名に直接処遇職員11名で勤務はとてもハードでした。察付きの職員3名は洗濯や繕いに明け暮れる日々、それ以外の職員で生活指導を中心に歩行訓練や余暇活動など行っていました。

特に印象に残っているのは、毎年夏に女性職員全員で布団の洗濯をしていたこと。クーラーのない真夏の作業は大変でしたが、作業をしながら子ども達の話を話したり、先輩職員からいろんな事を教えていただいたり、大変な中でも家庭的で職員同士の結束の強さを感じ、全く苦にはなりませんでした。何も知らなかった私を育ててくれたのが『宇多津学園』でした。



## わかば学園



## みどり園



川部みどり園 松本 幸子

## 『新しい生活へエールを!!』

谷口千鶴子さんは、10才で宇多津学園に入園し、施設が川部の地に移転し川部わかば学園となり、19才で川部みどり園に入所、それから平成22年までここで過ごしました。本当にみどり園の歴史とともに生活してきたんだなあと感じ深いものがありました。

その谷口さんが今年7月にケアホーム「やそば」へ移行し、はや半年になります。今でもちーちゃん（谷口さんの愛称です）が、玄関で職員の上靴を並べて待っているような気がします。優しく、人懐っこくて、いつも職員のお手伝いを一生懸命してくれるちーちゃん。また、服の袖をこっそりまくってびっくりさせるといういたずら好きな面もありました。新しいことが苦手な谷口さんが笑顔で生活している姿をみると、地域移行に取り組んで、複雑な気持ちになることもありましたが、大変嬉しくもあり、どんなことにも遅すぎるということはないんだと思いました。

一足早く第二の人生を踏み出した谷口さんにエールを送ります。  
 （次頁の「地域移行通信」で、谷口さんの新生活の様子を紹介しています。）

## 県民の期待に応え続けるみどり園の実現に向けて

川部みどり園 次長 藤本 整吾

「福祉の仕事は無駄が付きもので、時間の観念や効率性、コスト意識は馴染みにくいので敢えてやり方を変えなくても」という話を耳にしたことがあります。聖域化し変化を好まない傾向はどこの世界にもありますが、社会が急速に変化する中、それで良いのでしょうか。私には、会議のやり方や定例的な調査報告の仕方、電子システムの利用方法等々磨けば業務改善に繋がるやり甲斐のある原石が幾つか見えてきます。また、改善の内容に大小はありますが、職員一人ひとりが仕事のやり方について新たな提案をして実行すれば、大きな業務改善につながると信じています。

日々改革意識を持って業務改善を行うことで無駄な仕事の縮減が図られ、職員はより充実した利用者支援と支援に向けた自己啓発に取り組むことが可能となり、頑張る気持ちや満足度を高めることが期待できます。そのため、県民の期待に応え続けるみどり園を実現するため、職員一丸となって業務改善に不断の取り組みをしていきたいと考えています。



◆ 地域移行通信 ◆

平成22年度は、これまでに8名の方が地域移行しました。今回は22年7～8月に地域移行した谷口さん、西川さん、杉尾さんが生活している「生活訓練事業所わかたけ」と「ケアホームやそば第4」に行ってきました。

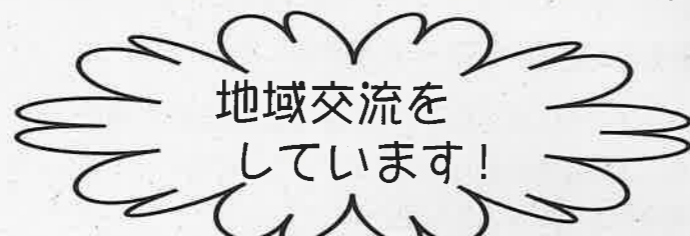
「生活訓練事業所わかたけ」の様子

訪問すると久しぶりの職員との再会に、少し照れける笑顔の杉尾さんと西川さん、大歓迎してくれた谷口さんに安心しました。お邪魔した日は午前中に大掃除をし、谷口さんが大活躍したそうです。訪問するとみんなでカラオケを楽しんでいて、西川さんは18番の「せんせい」を歌ってくれました。毎日、希望者で図書館など近所へ散歩に行き、お店で必要な物を買う時もあるそうです。



「ケアホームやそば第4」の様子

日中活動終了後、車で5分程のところにある綺麗な建物、ケアホームやそばに帰ってきます。帰ってくると、世話さんに今日したことを話したり、順番にゆっくりお風呂に入っていました。全員個室なのですが、杉尾さんはTVを観たり、西川さん谷口さんは絵を描いたりして過ごしてるようです。土日には横にある支援センターでしているカラオケなど楽しいプログラムに参加したり、みんなでドライブに行くそうです。三人ともすっかり新生活に慣れて、自分たちの日課をこなしている姿を見てほっとしました。



● ライブサポートセンターとの交流クリスマス会

電気を消し、灯りといえはろうそくの炎だけというキャンドルリレーは荘厳な雰囲気を醸し出して、初対面の緊張をほぐしました。それぞれ合唱とダンスの出し物は“静”と“動”の対比が鮮やかで交流会を盛り上げました。又、「イエスキリストの誕生」というクリスマスの言葉と他の生命を戴いて生きていることへの感謝について、両施設長からの温かいお話は皆の心に沁み入るものでした。最後はゲームによるプレゼント交換で終わりましたが、玄関まで見送り名残惜しむ子どもたちの姿が印象的でした。



● 岡本荘とのボランティア交流会

年末も押し迫った12月27日に寒風の中、全員徒歩で足取り軽く岡本荘へ向かいました。この活動は、今年の夏から「西っ子児童会」のメンバー中心に始まったもので3回目になります。今回は小学生を含めた15名が参加し、まずは一人一枚雑巾を持って、手すりやテーブル・椅子などの拭き掃除をしました。その後、ダンスやゲーム、ちびっ子漫才など子どもたち中心に考えたプログラムでお年寄りたちと楽しいひとときを過ごすことができました。毎日の生活の中であまりにも“してもらう”ことに慣れて子どもたちが、誰かのために何かをしてあげること自分も役に立つことを実感できれば、それがどんなに小さなものでも心地よいものとして残っていくよ

うな気がしています。帰り道は雪花が舞っていてとても寒かったけれどみんなとてもいい顔をしていました。



北棟だより

長い冬休みが始まる頃、北棟にはクリスマスソングがいつも流れていて、子どもたちもどことなくうれしそうな雰囲気でした。そしてクリスマスイブの日、楽しい歌やゲームのあと、みんなが喜ぶプレゼントを持って、サンタさんがやってきました。パーティー風にゆっくりといただいた夕食とケーキも、とても美味しかったですね。みんなの笑顔がこぼれて、ほんわかとした一日になりました。

今年の冬休みは寒かったですが、北棟の子どもたちはいろいろな行事で楽しみました。天気の良い日には散歩に出かけ、もちつきや買物外出、おやつ作り、すき焼きパーティーなど…北棟のみなさん、心のあったかくなるお休みになりましたか？



西棟だより



西棟 新年会

新しい年を迎え、長い冬休みも残り少なくなった1月7日、西棟では新年会を催しました。まずは皆の前で今年の抱負を発表し、それは“2月の丸亀ハーフマラソンを頑張る”等期間限定の目標が多かったけれど、其々に有言実行を誓い合ったものでした。その後、栄養士から野菜の効用について紙芝居をしながらのお話し。そして待ちに待った鍋パーティーへと進行しました。棟南庭で出来た白菜も入れ、盛り沢山でお腹も心も満足でした。

高3生の進路について

川部みどり園わかば児童課長  
三井 早苗

高校3年生の最後の現場実習も無事終わり、先日学校にて、本人・保護者・関係者が集まり進路懇談会が開かれました。児童課も関係機関のメンバーとして、また子どもさんをお預かりしている家庭代わりとして実習先への送迎や連絡調整の役割を担わせていただきました。

高校3年生5名のうち4名が成人施設入所希望、1名が家庭より就労継続B型事業所へ通所予定です。それぞれの思いに添った進路選択であり、近い将来にグループホームへの移行を見据えたものでもあります。

お正月も過ぎ、後わずかで巣立っていく5名。それぞれの道に思わぬ苦勞もあると思いますが、一つ一つ乗り越えてこれからも逞しく自分らしい人生を送ってほしいと願っています。そして送り出す後輩達の目指すべき良き目標となってくれることを期待しています。



## 定年退職者のコメント

# ほっと ニュース

4月から以下の新体系  
事業が始まります!!

### 北原 清志

みどり園で3年間の勤務でした。ありがとうございました。みなさんも健康に留意し、楽しい人生を送ってください。

### 末本 房子

みどり園通算18年間勤務した。目標を持ち、達成の努力をしていく日々でしたが、これからもこの状況は続けていきたいです。

### 巽 広子

「光陰、矢のごとし」一年、一年がとても早く退職の時期が来たのだと、改めて受け止めています。皆様のお陰で充実した日々を過ごせたことに感謝しています。

### 西山 市朗

“若葉・緑の萌える頃”そんな季節が思い出される38年勤務の中で忘れられない26年を「アリガトウ」

### 松浦カズ子

利用者の皆様 保護者の皆様  
職員の皆様 永い間大変お世話になりました。私はみどり園に3度19年間勤めました。皆様のたくさんの思い出が財産となりました。ありがとうございました。



### 生活介護事業ぐりーんけあ

生活のスキルアップのための様々なサービスを、グループまたは個別に提供し、楽しく豊かな生活が送れるようお手伝いします。

### 生活訓練事業ぐりーんらいふ

障害を持つ人々が地域で、自分らしく、自分の力で暮らす力を身につけることができるようお手伝いします。

### 就労移行支援事業ぐりーんじょぶ

障害を持つ人々の一般就労実現のため、職業人の基礎知識・マナーの習得、様々な職種の経験を通して本人の特性に適した仕事をみつけるお手伝いをします。



新体系事業開始式を

4月13日(水) 10:15~

行います

## みどり園にも来た!! タイガーマスク

- 1月17日、「絵本や本を買ってあげてください」と図書カード¥10,000円分が送られてきました。有効に使わせていただきます。
- 2月14日、(株)グランド商事アドバンス様より、お菓子の寄贈がありました。児童課の子どもたちでおいしくいただきました。

皆様、ありがとうございました。



### 研修予定(3月~9月)

開催月	研修名
5月~6月	身体・知的・精神障害者 ホームヘルパーステップアップ研修
7月~8月	相談支援従事者初任者研修

## 編 集 後 記

飛躍の年が明けて早2ヶ月が過ぎました。来月には新年度を迎え、いよいよ新体制での活動が始まります。これまで、利用者の皆さんに協力していただきながら職員一同が議論を重ね試行錯誤で準備を整えてきました。大きくジャンプするみどり園を、これからもよろしくお願ひします。

編集・発行 〒761-8046 高松市川部町418 香川県立川部みどり園 Tel(代) 087-885-8600

e-mail midorien@pref.kagawa.lg.jp

http://www.pref.kagawa.lg.jp/shogaihukushi/midorien/

この冊子は再生紙を使用しています。